

さくらのVPSに関連するニュースをお届けします

「さくらのVPSニュース」

×

KUSANAGI for さくらのクラウド



■ お客様情報

運 営 会 社 : さくらインターネット株式会社
 サ イ ト 名 : さくらのVPSニュース
 サ イ ト U R L : <https://vps-news.sakura.ad.jp/>

サービスイン : 2016年9月
 利 用 製 品 : KUSANAGI for さくらのクラウド

■ 旧サイトの課題

- ・ サイトの機能を調整したかった
- ・ サイトのPV数を向上させたかった
- ・ SEO対策を行えていなかった

■ 超高速WordPress仮想マシン「KUSANAGI」の活用効果

- ▶ 急激な100倍のPV数上昇にも問題なく耐えることができた
- ▶ サイトの機能もKUSANAGIコマンドで手軽に追加できた
- ▶ 「KUSANAGI for さくらのVPS」をリリースしたことでダウンロード数を1500台まで伸ばせた

通常の100倍以上のPV急上昇にも問題なく耐えられました

お客様の声で、「KUSANAGI」に対応した「さくらのVPS」をリリースして欲しいとの声を多く頂き、2016年10月に「KUSANAGI for さくらのVPS」をリリースするに至りました。

リリースした当初は大反響。それにともない、「KUSANAGI」に対応した「さくらのVPSニュース」サイトはPV数が急上昇いたしました。当時、通常の100倍以上のPV上昇という高負荷がかかりましたが、問題なく乗り越えることができました。

また今回の高速化によってユーザーエクスペリエンスが上がり、閲覧者が増え、SEO上でも効果が期待できます。



さくらインターネット株式会社 技術本部ミドルウェアグループ VPSチーム プロデューサー

伊東 宏起様

開発者のお財布に優しいさくらのVPS。スキルアップに使ってほしい

「さくらのVPSニュース」は、既存のユーザーに「VPS」にまつわるデック情報をお届けするためのメディアサイトです。VPSユーザーが操作する上でぶつかる疑問点に対して、開発しているエンジニアがお答えするQ&Aサイトのような形式で、情報発信をしております。

「さくらのVPS」は月額685円から導入できます。画像などのデータのやり取りがあっても、上限なく同じ金額で使用することができます。使用して欲しい人はいろいろ触りたい盛りのエンジニア。開発環境を作っては壊してを繰り返して、自身のエンジニアリングのスキルアップに活かしてもらえたら嬉しいです。分からないことがあれば、「さくらのVPSニュース」に載っている情報をぜひ活用ください！

伸び続ける「KUSANAGI for さくらのVPS」の導入数。決めてはその自由度と拡張性

現在、「KUSANAGI for さくらのVPS」上で稼働するWordPressサイトは1500台に達しております。さくらのVPSの特徴は、専用サーバの自由度とクラウドの拡張性を併せ持っている新次元のホスティングサービスだということです。

今回「さくらのVPSニュース」を作成する際、ゼロから「KUSANAGI」を入れてWebサイトを構築しました。その際に使用したのが「kusanagi.tokyo」に載っている「KUSANAGI」のコマンドライン一覧です。WordPressのダウンロード、プロビジョニング、常時SSL化のコマンドなど、すべてドキュメント化して公開してあるので、簡単に「KUSANAGI」化したウェブサイトを構築することができました。

エンジニアから見た、「KUSANAGI」のすごいところ

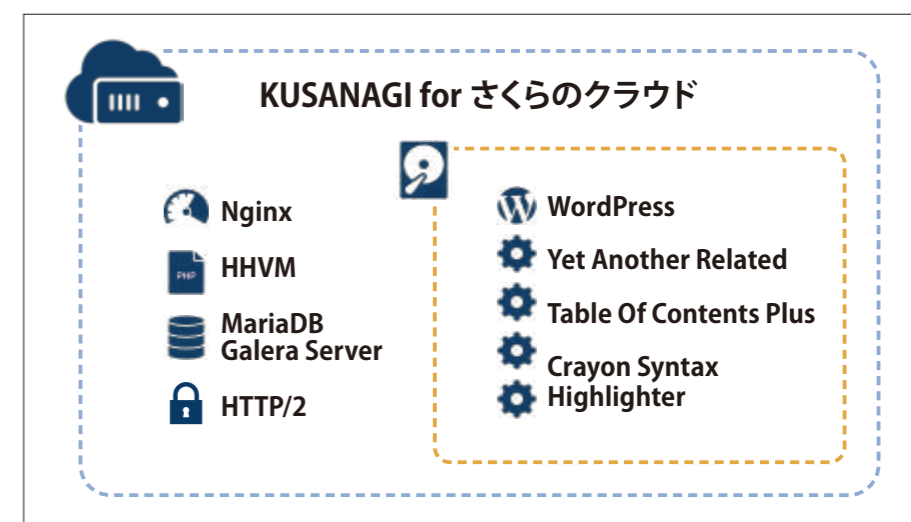
高速化に必要なチューニングがすべて行われているところです。これだけのチューニングをしようとおもったら相当大変な作業になります。エンジニアのスキルにもよりますが、「KUSANAGI」を入れない状態と比べると、1週間以上分の作業効率がアップしているのではないかと思います。またPHP、WordPress本体、ミドルウェアのチューニングは、エンジニアからしたら一見の価値があると思うので、ぜひ一度「KUSANAGI」で構築されたサイトのソースコードを見てみると良いと思います。

さくらのVPSニュース構成について

さくらのVPSニュースのサービスは、フロントにNginx、HHVM、DBにMariaDB Galera Serverを採用しています。またHTTP/2でフルSSLサイト化しています。

KUSANAGI for さくらのクラウド
<https://kusanagi.tokyo/cloud/kusanagi-for-sakuracloud/>

KUSANAGIについて
<https://kusanagi.tokyo/>



本事例に掲載されている会社名、商品・サービスの名称は、それぞれ各社が保有する商標または登録商標です。